

授業科目 助産学実習Ⅰ

【担当教員名】 下山 博子 他		対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要】 妊婦、産婦、褥婦、胎児、新生児及びその家族に対して、助産の基礎知識、技術、態度を統合して活用し、助産過程を展開することによって助産に必要な基礎的能力を養う。					
【学習目標】 1. 助産過程を用いて必要な看護を考察し、実践する。 2. 受け持ちケースの妊婦検診ならびに保健指導を実践する。 3. 産褥期の家庭訪問を実施する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1～	実習施設において妊娠期から産褥期にある女性を継続して受け持ち、看護を実践する。 受け持ちケースの妊婦検診と保健指導を実践する。 受け持ちケースの産褥期の家庭訪問を実施し、看護を展開する。			1, 2, 3 1, 2, 3 1, 2, 3	担当：塚本 康子 他 担当：塚本 康子 他 担当：塚本 康子 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		その都度提示する。			
その他の資料					
【評価方法】 看護実践内容、実習記録、出席状況により総合的に評価する。			【履修上の留意点】 体調管理には十分注意する。		